

# 医学部

Faculty of Medicine

良き医療人材の育成と

生命科学分野の研究拠点を目指して

医学部は、昭和49年に設立された宮崎医科大学を前身とし、平成13年に看護学科を併設しました。  
平成15年10月に宮崎大学と統合し、宮崎大学医学部となりました。



医学部長  
菱川 善隆

医学科と看護学科は、本学のスローガン「世界を視野に地域から始めよう」のもと、地域社会はもとより広く世界に貢献する医療人を輩出することを目指しています。両学科共に1年次から始まる専門基礎科目を経て、学内外での体験学習を行い、医療人としての自覚を早期に育成します。医学科では4年次、看護学科では2年次から医療現場での臨床実習が始まります。臨床実習は本学部附属病院のみならず、各地の連携研修医療施設においても行われ、最前線で活躍する先輩医師や看護師から直接指導を受けます。また、ドクターヘリの運航や救命救急センターの診療を通して、県下医療機関と連携した救命救急医療体制を構築しており、新型コロナ禍においても、県内医療機関の最後の砦として貢献しています。このような環境のもとで医学・看護学を学び、地域を支える意欲、また世界に貢献する意欲に燃えるみなさんの入学を歓迎します。

## 医学部 各学科

### 医学科

地域における医学・医療の中心的な役割を果たす  
宮崎の地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる医師・医学研究者を育成。

P25

### 看護学科

人間と生命の尊さがわかる専門職を育成  
看護による健康への支援を通して保健医療に貢献できる看護師、保健師を育成。

P27





## ■ 医学部の使命

宮崎大学医学部は、「地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に、進歩した医学・看護学を修得せしめ、人命尊重を第一義とし、医の倫理に徹した人格高潔な医師、医学研究者、看護職者及び看護学研究者を育成し、国内外の医学及び看護学の水準向上と社会福祉に貢献すること」を使命としています。

## ■ 医学部の教育理念・目標

教育・研究・診療を通して、地域社会や人類全体の健康と福祉の増進に寄与し、高潔かつ温かな人間性を有し、最新の幅広い知識と確かな技術を持ち常に向上のための努力を惜まず、地域の問題を理解すると共に豊かな国際性を有する医師、看護師、研究者、教育者を育成します。

## ■ 卒業認定・学位授与に関する方針(ディプロマ・ポリシー)

### 医学部

宮崎大学医学部では、以下の素養を身に付けるとともに、所定の期間在籍し、基準となる単位を修得した学生に、卒業を認定し、学位(学士号)を授与します。

- 1) 社会に貢献できる医療人として、豊かな人間性を持ち、謙虚な心で、人命尊重、的確な判断力、実行力を備え、義務と権利を適正に行使できる。
- 2) 自ら学修計画を立て、主体的に学び、自己研鑽し、最新の医学および看護学の知識を生涯にわたって学修することができる。
- 3) 教育によって身に付けた医学および看護学の知識や新たな知見を複眼的、論理的に分析するとともに、課題を認識し医療の進歩に貢献できる。
- 4) 相手の伝えたいことを的確に理解し、自己を表現でき、他職種と連携してチーム医療を実践できる。
- 5) 医学および看護学を学ぶ機会が得られたことへの感謝の心とプロフェッショナルとしての自覚を持ち、教育で得た知識、技能によって地域医療に貢献できるとともに、グローバルにも活躍できる。

### ■ 施設紹介



臨床技術トレーニングセンター



フロンティア科学総合研究センター



総合教育研究棟



総合周産期母子医療センター



# 医 学 科

School of Medicine



**地** 地域における医学・医療の中心的な役割を果たすと同時に国際的にも幅広く活躍できる人命尊重を第一とした医師、医学研究者を育成します。

## 地域を第一に！ 地元で地域の医療に携わりたい



医学科 5年

**岩崎佑姫奈** Yukina Iwasaki  
宮崎県 宮崎大宮高校出身

本学科には、大学で学んだことがそのまま職業として活かせるのが医学科だなと感じて志望しました。宮崎県の地域医療に関わることが前提の地域枠で入学。そのため僻地での実習や、宮崎のことを学べる機会が多いです。地域枠で働いている医師たちのライフプランを見る機会もあるため、自分が将来どんな働き方ができるか想像しやすいのも良いですね。医師不足が深刻化している地域に行かないといけなかなというイメージがありました。女性特有のライフイベントに対しても柔軟に対応してくれるのも分かりました。これまで学んできたなかで、呼吸器系に興味があります。将来は全人的なケアをしながら、好きな呼吸器系を強みにした医師になりたいです。



### 医学科 カリキュラム

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
<b>基礎教育科目</b>	導入科目(大学教育入門セミナー、情報・データリテラシー、英語、初修外国語、専門基礎) 課題発見科目(専門教育入門セミナー、環境と生命、現代社会の課題) 学士力発展科目(地域・学際系、自然科学系、外国語系)	英語				
<b>基礎形成科目</b>	(地域社会と医療) EMP 1 (医学研究演習 I) 肉眼解剖学 I 組織学総論	早期地域医療実習 生命科学展望 (医学研究演習 II) 肉眼解剖学 II 組織学各論 機能生化学 医科生化学 医科生理学	研究室配属 (医学研究演習 III) 薬理学 病理学 微生物学	神経科学 公衆衛生学 公衆衛生学実習 法医学	(EMP II) (医学研究演習 IV)	(EMP III) (医学研究演習 V)
<b>臨床医学科目</b>		地域医療学	循環器 消化管 呼吸器 肝・胆・膵 膠原病・感染症	神経・運動器・脊髄 眼科学 精神医学 放射線医学入門	内分泌・代謝 血液 腎・尿路 皮膚科学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 歯科口腔外科学 救急応急と急性期の生体管理 新生児・小児科学	生殖医学 老年医学と緩和医療 リハビリテーション医学 臨床遺伝学 臨床腫瘍学 薬剤処方学・東洋医学 臨床診断学
			臨床実習前の共用試験 (知識の習得状況を測定する試験)	共用試験 <CBT> <Pre-CC OSCE>	臨床実習前の共用試験 (技能や態度を評価する客観的 臨床能力試験)	
				クリニカル・クラークシップ I (4年～5年) <病理学・臨床検査医学> <内科学> <精神医学> <小児科学> <外科学> <整形外科学> <リハビリテーション医学> <皮膚科学> <泌尿器科学> <眼科学>	臨床実習後の共用試験 (技能や態度の習得状況 を見定める実技試験)	
					クリニカル・クラークシップ I 到達度試験 クリニカル・クラークシップ II (5年～6年) Post-CC OSCE	

医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。



医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力(主体性・学問への関心)を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力(知識・技能)と他者と協調・共感できる豊かな人間性(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。



医学科 内科学講座  
呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野  
教授 宮崎 泰可 Taiga Miyazaki

## 充実した医学教育カリキュラムで明日の良き医療人を育てます

医師には豊かな人間性と高い専門性が求められます。医学部医学科ではそのような医師を育てるべく、医師国家試験のその先の卒業臨床研修までを見据えた一貫した教育カリキュラムを整備しています。基礎医学を学ぶ1~3年生の段階から大学病院や地域の福祉施設での実習、研究室配属実習を経験します。4~6年生の臨床実習では県内外の教育病院で学ぶ機会があり、早い時期から医師としてのプロフェッショナリズムを培っていきます。また英語教育プログラムを通して海外協定校での学びのチャンスもあります。足下は地域に根ざし、視野は世界に向けられる医師ならびに医学研究者を育成しています。医学・医療を学ぶ喜びと充実感を医学部キャンパスで体感して下さい。



### 医師として働き続けるための『キャリアデザインサポート』体制

宮崎大学医学部では、医学科の卒業生及び学生が個人の資質を最大限に発揮しながら、医師・研究者として社会貢献を果たすキャリア形成を支援しています。大学ホームページ上では、専用サイト「キャリアデザインサポート」

 Career Design Support

宮崎大学医学部卒業生を支援するサイトです

を運用し、卒業臨床研修プログラムや専門研修プログラム、医学研究及び大学院進学、海外留学等に関する情報提供をはじめ、登録された卒業生・学生の問い合わせにも対応しています。

また、宮崎の医療を担う若手医師の育成のため、宮崎県を始めとする自治体、医師会、大学病院の三者が一致協力して、オール宮崎体制を築いています。

大学や附属病院の情報提供はもちろん、本学医学部で学んだ皆さんを卒業後も大学教員・職員・宮崎県が一丸となって応援していきます。

## 卒業後の主な進路

臨床研修医  
(本学附属病院、他の国公立大学附属病院、他の公立・民間等病院)

## 取得可能な免許、資格

- 医師(国家試験受験資格)

# 看護学科

School of Nursing



**社** 会と地域の保健医療に貢献できる人材を育成します。何よりも豊かな人間性を大切に、人々の健康な生活への援助を実践するために附属病院の最先端医療設備を活用した高度な看護学を学びます。

## 保健師課程があるから 宮崎の制度や仕組みを学べる



看護学科 4年

**桐山 遥** Haruka Kiriya  
宮崎県 宮崎学園高校出身

幼少時に入院したことがあり、看護師さんにお世話になりました。医師も考えましたが、声掛けなどで患者に寄り添え、距離が近い看護師になりたいと考えるように。本学科は保健師課程があるのが魅力。授業で、宮崎の制度のことや仕組みも学べます。また本学の世界を視野に地域から始めようのスローガンも気に入っています。私自身も地域から世界を考えており、「ユネスコ協会青年部」というボランティア団体を立ち上げました。子どもにSDGsを教える活動をしています。本学科は、附属病院が敷地内にあり、座学で現役の看護師や医師が講師として話してくれる機会があります。医学科もあるので、看護面だけでなく医師の講義で医療という面でも学べます。将来は、地域に根差し保健師になれればと思っています。

### 看護学科 カリキュラム

※2023年度入学生までのカリキュラムとなります。

	専門基礎科目			専門科目							[保健師課程]	
	人間理解	健康と疾病理解	保健社会の仕組み理解	基礎看護学	在宅看護学	地域看護学	成人・老年看護学	精神看護学	小児看護学	母性看護学	統合と実践	公衆衛生看護学分野
4年	臨床倫理	臨床薬理学		症状・徴候からみる フィジカルアセスメント							看護研究II 災害看護論 総合実習 看護教育発達論 がん看護 心身よさをもちあわせ看護技術 AYA世代の健康課題	公衆衛生看護学演習 公衆衛生看護学管理 公衆衛生看護学演習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護学実習I 公衆衛生看護学実習II
3年	(ENP BIII)			看護管理学 医療安全論	ひむか看護実習II 在宅看護援助論 在宅ケア実習		成人看護援助論IV 成人看護援助論V 老年看護援助論II 成人・老年看護学実習I 成人・老年看護学実習II 成人・老年看護学実習III	精神看護援助論II 精神看護学実習	小児看護援助論III 小児看護学実習	母性看護援助論II 母性看護学実習	看護研究I 遺伝看護 健康運動看護実践論	公衆衛生看護学概論 地区活動論 保健指導技術論 健康教育論II 疫学演習
2年	臨床心理学 (ENP BII)	感染症学 薬理学 疾病・治療論総論 疾病・治療論I 疾病・治療論II 疾病・治療論III	公衆衛生学 疫学・保健統計 社会福祉論 看護関係法規	基礎看護技術III 看護過程 基礎看護学実習II	在宅看護論	対象別地域看護活動 健康課題別地域看護活動 健康教育論I	成人看護学概論 成人看護援助論I 成人看護援助論II 成人看護援助論III 老年看護学概論 老年看護援助論I	精神看護学概論 精神看護援助論I	小児看護学概論 小児看護援助論I 小児看護援助論II	母性看護学概論 母性看護援助論I		
1年	発達論 医学・医療概論	解剖生理学 解剖生理学演習 栄養生化学 栄養生化学演習 臨床病態学		看護学原論 基礎看護技術I 基礎看護技術II ひむか看護実習I 基礎看護学実習I 看護理論	ひむか看護論							

基礎教育科目

導入科目：大学教育入門セミナー／情報・数量スキル／外国語コミュニケーション／保健体育／専門基礎  
課題免見科目：専門教育入門セミナー／環境と生命／現代社会の課題  
士力発展科目：地域・学際系／自然科学系／外国語系

科 体：選択科目  
( )：自由科目  
網掛け：保健師課程

看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。



看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力(知識・技能)を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心(学問への関心)、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力(主体性・多様性)、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力(協調性・思考力・表現力)を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。

## 地域に根ざした 明日の看護を一緒に創りましょう

医学部看護学科は保健師・看護師統合カリキュラムです。卒業時に看護師国家試験、保健師国家試験の受験資格が得られます(保健師教育課程は選抜制)。

大学共通の基礎教育科目に加えて、専門基礎科目では生物学的及び心理・社会的な側面から看護の対象について体系的に学びます。看護学専門科目では、「ひむか看護論」など地域に根差した看護を学ぶ機会があります。私が担当する「母性看護学」では、母子とその家族を対象に妊娠・出産、子育ての支援について講義や演習、医学部附属病院における臨床実習を通して実践的に学修します。また、卒業後は大学院看護学研究科実践助産学専攻へ進学し、助産師国家試験受験資格を得る進路があることも看護学科の魅力の一つです。



看護学科 母性看護学・助産学領域  
教授 関屋 伸子 Nobuko Sekiya



ココに  
注目!

### 看護学の発展のために!

看護学の一層の発展のため、宮崎大学では医学部看護学科を母体とし、単一の研究科に特化した大学院看護学研究科を開設(平成26年)しました。研究科の構成は実践看護者育成コースと研究者育成コースから成り立っています。

実践看護者育成コースは、がん看護領域と実践助産学領域(免許取得課程)および実務経験のある助産師を対象とした実践助産学開発領域から構成されています。したがって従来看護学科で行っていた助産師養成は発展的に解消し、実践助産学領域に組み込まれています。一方、がん看護領域では、がん看護専門看護師の養成課程を有しており、将来の資格獲得が可能となります。

研究者育成コースでは、研究者の育成と共に、看護の多様化するニーズに応える形の研究を続けていきます。こうした大学院で

の研究成果が、今後の看護学の発展に寄与することは言うまでもありません。看護学が単独で大学院を構成することは国立大学では大変珍しく、その成果が注目されています。



## 卒業後の主な進路

本学部附属病院、他の国公立大学附属病院、  
他の公立・民間等病院、宮崎県職員(保健師)、  
他の自治体職員(保健師) 他

## 取得可能な免許、資格

- 看護師(国家試験受験資格)
- 保健師(国家試験受験資格)<sup>※1</sup>

※1 選抜制、2年次後学期に履修生の選考試験を行う。  
保健師免許取得後、教育職員免許法の所要単位を修得し、  
申請により養護教諭二種免許を取得することができます。